

水の思い出 ④⑦

今から42、3年前の話。自営業であった我が家には、当時従業員が常に5、6名おり、高度経済成長の波に乗り、早朝から深夜まで家業は忙しく、私たち兄弟は家族と遠出することなどめったに無かった。

従業員の一人に子ども好きな「チタちゃん」というおじさんがいて、配達や修理の時に私たち兄弟をトラックの助手席に寄せ、よく里川橋（三才町から小沢町にかかる橋）に連れて行ってくれた。堤防には近くの農家の牛が放牧されており、私たちはそこを「モーモの川」と呼んでいた。遠くからその牛の様子を眺めることが最大の楽しみであった。

月日は流れ、数年前、「チタちゃん」は他界し、時々通る里川橋の風景も一変したけれど、私の心の中には「チタちゃん」と行った「モーモの川」の風景が鮮明に今でも残り、当時の「チタちゃん」より年を重ねた自分とようやく歩き始めた我が子とを重ねて見ている自分がいる。

あと少し息子が大きくなったら、父親の「モーモの川」の思い出を話せたらと願う・・・

（東二町 西野 寧）



上宮河内町 蜂巣



面白いよ!社会科副読本



社会科副読本をご存じですか？社会科の教材として昭和51年に初版が発行され、小学校・中学校の社会科の授業で活用されています。市内の小学校・中学校の先生が編集を担当され、小中学生に常陸太田の歴史・産業・文化・歴史・行政が理解できるようにとても解りやすい文章で書かれています。

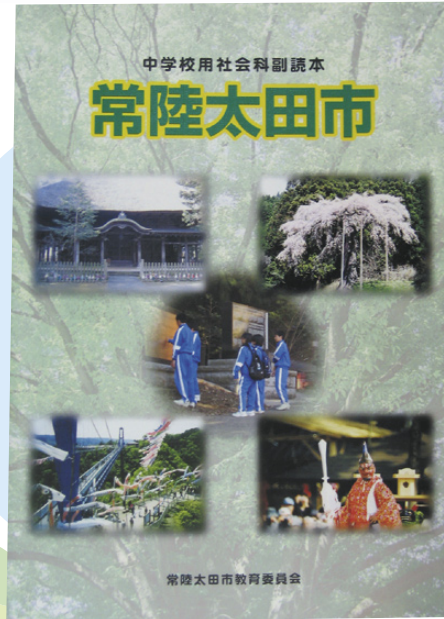
小中学生の教材として作成されたものですが、一般の方々にとっても常陸太田の成り立ちや歴史が順序よくまとめられている、隠れた「常陸太田ガイドブック」ともいえるのではないのでしょうか。社会科副読本の編集に携われた先生と副読本の内容の一部を紹介いたします。

(鴨志田 悟・塩原 慶子・五十嵐 弘)

小学生用社会科副読本



中学生用社会科副読本



の だ よしなお 野田 良直先生(金砂郷小学校)

◆案外地元ってわからないものです

学生時代は県外で学び、教師になってからも常陸太田以外へ赴任していたので、地元と言ってもよくわかりませんでした。副読本編集を担当し、自分の足で歩き確認したことは、改めて地元を見直す機会になり、児童たちに伝えるとき大変役だっています。「児童自身の驚きや感動、そして先生自身が地域に誇りと自信を持って教えることが、子どもたちにも伝わっていくのだと思います。」

◆見えない所にも思いを込めて

旧太田地区出身ですが、担当したときは賀美小学校に赴任していました。太田のことを里美の児童たちに、そして里美のことを他の地区の児童たちに、できるだけよく知ってもらえるにはと心を砕いて編集にあたりました。見えない所にも気持ちを込めてと考えて、例えばレイアウトの背面に使う写真もそれぞれの地区を代表する風景などを使っています。



さ さ き のりひろ 佐々木 徳弘先生(小里小学校)

◆写真には苦労しました

難しかったのは写真です。田んぼの稲刈り風景の写真を使いたいと考えた場合、撮影できる期間が限られているので、使う使わないの判断の前に、とにかくいろいろなところへ出かけ早めに写真を撮っておきました。またそれ以上に気を遣うのは、ただのスナップだけでは不十分だということです。子どもたちに写真から何を学び取ってもらうのか、その意図がきちんと写真の中に写し取られていなければなりません。校正の段階になって写真の撮り直しも何度かありました。



◆副読本担当は2度目です

合併前の中学校の副読本を担当したこともあり、今回が2度目です。文字の間違いという通常の校正以外にも、例えば地元のスーパーの紹介写真では、写ってしまった値段をすべて消すといった本当に細かな所までチェックしています。何度も何度も目を通した原稿ですが、でき上がってきた副読本を最初に開くときは楽しみというより「はらはら・どきどき」します。

常陸太田は歴史の宝箱だ！

かじやま まさひこ
梶山 雅彦先生(瑞竜中学校)



梶山先生は、もともとは理数系が好きでしたが、歴史にも興味があったので、社会科の先生になったと話してくださいました。

◆社会科のどこが面白いですか？

社会科は、大きく3つに分かれています。みなさんもお存じのように「地理」「歴史」「公民」の3つです。その中でも特に「歴史」が好きでした。どこにもその地の歴史というものがあります。それを掘りおこして調べて、つなぎ合わせる作業は、とても面白いです。特に常陸太田は、歴史の宝箱だと思います。古くから人の営みがあり、太田と中央との結びつきが強く興味深いものがあります。調べれば調べるほど常陸太田の魅力に気づきます。

◆副読本の編集作業で大変だったことは

常陸太田には、歴史を始めとして伝えたい資料はたくさんあります。多くの資料を集めることはそれほど大変ではなかったのですが、決められた頁数の中にカリキュラムに合わせてまとめるために資料を削らなければなりません。その作業が大変だったと思います。ベストではないかもしれませんが、ベターな物ができたと思っています。

◆社会科を学ぶ子どもたちへ

過去の出来事が理解できれば、未来を正しく創造出来るのではないかと思います。過去の出来事を理解するために大事なことは、まず初めに「なぜ？」と思えるかどうかだと思います。歴史にふれたり、新聞を読んだときに「なぜ？」と思ってくれればいいかなと思います。さらに副読本を授業で活用するだけでなく、家へ持ち帰って、家族全員で読んで欲しいと思います。

社会科は、未来をどう生きるべきかを教えてくれます

きむら ひさし
木村 央先生(水府中学校)

木村先生は、子どものころから歴史が大好きな水府生まれの水府育ちの先生です。

◆スバリ社会科とは？

一言で言えば、未来をどう生きるかを教えてくれる学問だと思います。例えば、無人島へ流された場合、人は、何を考え、どう行動するでしょうか。食べ物・飲み物・住む場所の確保などが、大事なことになると思います。そのためには、様々な情報を収集し、選択し、よりよく生きるための方法を模索しなければなりません。つまり、「どう生きるか」それが究極の目標になると思います。



◆副読本の編集作業で大変だったことは

常陸太田市の副読本なので、太田・金砂郷・水府・里美の歴史や商業、農業などをバランス良く、正しく、限られた頁数の中におとし込む作業に労力を使いました。作業は大変でしたが、担当の先生方と実際に地域に出向いて資料を取り寄せたり、地域の方のお話を聞く中で、地域に根ざした副読本を作りたいという想いが高まってきました。完全とは言えないかも知れませんが充実した内容になったと思います。

◆社会科を学ぶ子どもたちへ

自分たちが生まれ育った場所をいろいろな角度から見つめ、理解することができれば、やがて大人になって違う場所で生活することになっても、その場所の長所や短所を見つけることができるようになると思います。そして、自分がこの先、その地域のために、家族のために、どう関わり、どう行動すればよいのかが見えてくるのではないかと思います。社会科を学ぶということは、自分が未来をどう生きるかを考えるための方法を学ぶことだと思います。だから、今、自分が住んでいる地域を大切にしてほしいと思います。

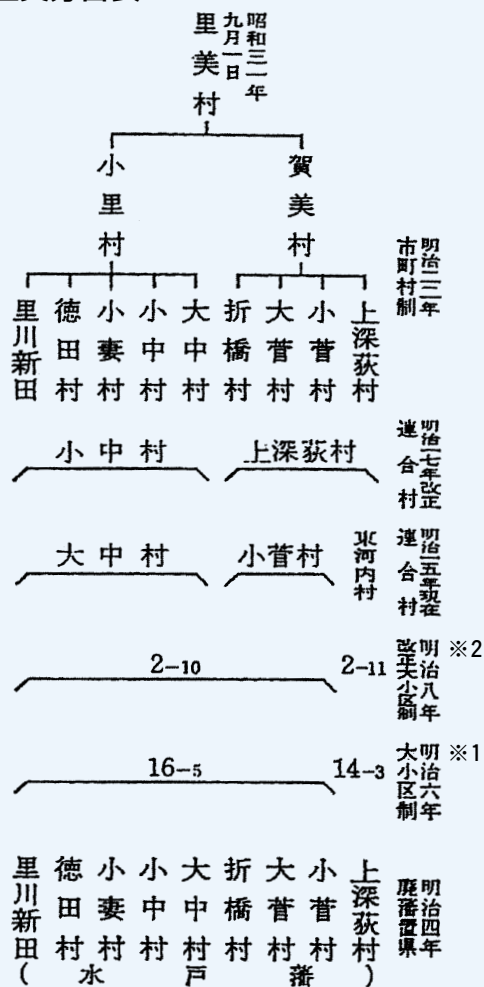
中学生用副読本の内容を一部ご紹介します。全95頁の中で常陸太田の産業・文化・歴史・行政について書かれていますが、特に歴史については全体の半分程の頁数を割いて書かれています。そのことから「歴史の町常陸太田」がうかがえると思います。

最近は、戦国武将の人气が高く戦国時代にスポットを当てたTV番組も多く放送され、戦国武将に興味を抱く若い人が増えてきたといえます。副読本では、長くこの地を治めた清和源氏の流れを汲む戦国大名佐竹氏のなりたちから、戦国時代を経てやがて水戸徳川家がこの地を治めるまでを、日本史に登場する有名な人物・事柄を交えて解りやすく書かれています。その後の尊皇攘夷運動についても日本史の大きな出来事の説明の中に常陸太田での出来事等が交えて書かれていて、とても興味深く読むことができます。特に、天狗党と諸政党の常陸太田での戦いの説明には現在の地名も多く登場してきます。現在の風景と鯨ヶ丘の西側にある二本松藩士の墓や立川醤油さんに残っているという柱の刀傷などと重ね合わせながら想像すると、歴史上の出来事がとても身近に感じられます。

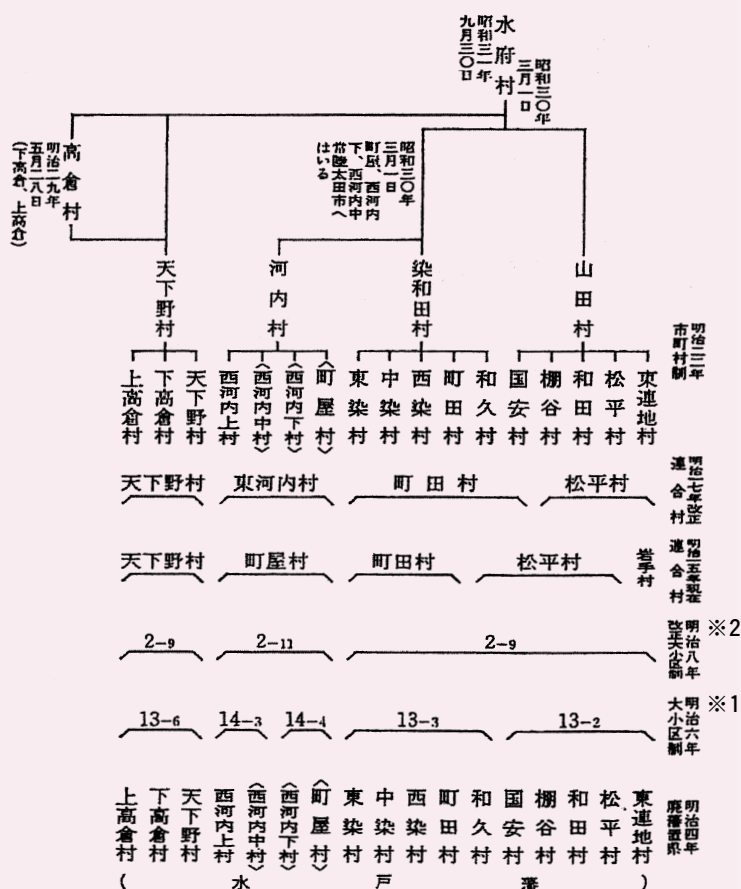
又、明治4年に行われた廃藩置県から平成の大合併までの村や町の合併の順序が里美・水府・常陸太田・金砂郷それぞれの分合表として掲載されています。現在の町名が昔は村として独立した行政体であり、やがて合併を繰り返して現在の常陸太田市になった変遷がよく解り興味深い内容です。分合表を紹介いたしますのでみなさんが住んでいる場所がどのような過程で現在の町名になったかを知っていただければと思います。

社会科副読本は一般の方が手にすることは難しいのですが、図書館で見ることができます。又、市内の小・中学生には教材として配られていますので、お子様といっしょに手に取ってはいかがでしょうか。(五十嵐 弘)

里美分合表



水府分合表



※1 廃藩置県の廃止に伴い、明治6年に大小区制を実施。茨城県域を21大区、130小区に編成。（例：13-1（第13大区-1小区））

※2 明治8年に大小区制の改正があり、茨城県域を12大区、133小区に編成。

(塩原 慶子)

時を駆け抜けた人たち

No.2

凍みこんにやくを伝えた探検家 木村 謙次

皆さんは「凍みこんにやく」をご存じでしょうか？常陸太田市の天下野地区で生産されていますが、冬場、こんにやくに水をかけながら何度も冷凍と乾燥を繰り返して作ります。凍みこんにやくは、江戸時代に丹波の国（京都・兵庫）より天下野地区に伝えられました。伝えたのは同地区出身の医者であり、農政家であり、探検家でもあった木村謙次です。16歳の時に医学を学び始めた謙次は、次第に政治や社会の問題にも目を向けるようになります。当時、農村の人々は貧しい暮らしをしていて、その生活を救うため凍みこんにやく作りを広めたとされています。

他にも謙次は蝦夷地（北海道）探検家として名前が知られています。1度目は寛政5年（1793年）に水戸藩の命により松前へ渡りました。この時、蝦夷地の防備の不十分さを知った謙次にはすでに屯田兵（1875年実施）の考えがあったといえます。2度目は寛政10年（1798年）に幕府の一行に加わってエトロフ島へ向かいました。その際に島に建てられた「大日本恵登呂府」の木標は謙次が書いたものです。探検の後、水戸に戻った謙次にはその功績が称えられ武士の身分が与えられました。

現在、天下野には謙次から8代目の子孫に当たる木村一郎さんが住まれています。一郎さん宅で謙次が持ち帰ったアイヌ民族の衣裳や、謙次が使用した薬研などを見せただけでしたが、そこからは時代を超えた謙次の熱い思いが伝わってくるようでした。

（萩谷 浩司）



募集します

フォズ50号
発行記念

2000年6月に創刊いたしました生涯学習情報誌フォズはまもなく50号を迎えます。平成16年の合併に伴い金砂郷・水府・里美地区への配布は23号から始まり約半分の25冊をお届けできるようになります。50号を記念して「常陸太田の美味しいもの引換券」をプレゼントいたします。さて、募集要項は？

①全号持つ部門(旧常陸太田地区対象)

創刊号からこの48号まで全部そろって保存しているという方、どうぞご応募ください。

②合併後の25冊持つ部門(金砂郷・水府・里美地区対象)

合併後発行の23号～48号まで全部そろって保存しているという方、どうぞご応募ください。

※①、②は抽選でそれぞれ1名の方に常陸太田産イチゴ1箱(4パック入り)をプレゼントします。当選された方には、フォズネットワーク事務局よりご連絡さしあげます。当選された方はフォズでご紹介します。

③フォズの感想送ってね部門(全地区対象)

フォズのご感想・ご意見をお寄せください。抽選で10名の方に「常陸太田の美味しいもの引換券」をプレゼントいたします。(当選した方は引換券を持ってプレゼント協力店へお出かけいただきます。また、引換券の発送をもって発表にかえさせていただきます)

宛先：〒313-0061 常陸太田市中城町3280 常陸太田市生涯学習センター内フォズネットワーク

締切：1月15日必着 はがきにお名前・ご住所・年齢・電話番号・応募部門(①～③)をお書きの上ご応募ください。



『干し柿の酢漬け』

11月になると家々の軒先に、干し柿やいもがら・白菜・大根等が干されているのを見る。その土地の風物詩のようで、いい風景だなと思う。実りの秋になるもの、採れるものを、時期をみて干したり漬けたりして手を加え、保存食を作る仕事は、農閑期の冬の楽しみ。ひそかにワクワクしながらする仕事、のはずなのだが、百姓母ちゃんはまだ片付かぬ畑仕事の合間に、いつもドタバタしながら、ザルと漬物樽を抱えて走り回る。大根は漬けた、白菜も漬けた、豆の脱穀は間に合わないか…とすべりこみセーフで、正月を迎える。

甘いお楽しみ、干し柿は、柿の木のない我が家では、もっぱらもらうか、父が買ってきたのを家の軒先に追加干ししている。干し柿の甘みは砂糖と違い体をあたためる効果もあるという、うれしい天然スイーツなのだが、あまりにも甘くてどうもという向きにおすすめの食べ方

を一つ。なるべく硬めに干した干し柿を用意して、タテ4つ割りにして種をとる。平らな容器に敷き詰めるように1段並べたら、上から酢をまんべんなく降りかける。酢の量は多すぎるとふやけてしまうので注意。それを2段・3段とあるだけ繰り返したら最後はラップで覆っておく。そのまま冷暗所において、しばらくすれば、しつとりと程よい酸味の干し柿のおつまみができる。

酢が入っているので保存もでき、暖かくなったら冷蔵庫に入れておけば夏までもつ。干し柿を丸ごと1つ頬張るのもいいが、小皿にこれを数個取り分けると、上品なお茶受けとなり、急なお客さんにも格好のおもてなし。お菓子を作るとき、細かく切って干しぶどうの代わりにも使える。干し柿は日本の気候風土に合った立派な地産ドライフルーツ。沢山食べたいですね。

(木の里農園

布施 美木)



子育て奮闘記

踊るママパラダイス ④7

私には、姉と弟がいます。子どもの頃はよくケンカもしたし、よく遊びました。成績抜群の姉ができの悪い妹と弟を常に気にかけ、私と弟は悪さも一緒にしたし成績もどんぐりの背くらべ。姉の結婚が決まった頃から両親が病気をしたため、看病と看取りを三人でしました。葬儀も力を合わせて執り行い、小さいさがいはいあったものの終わったときには以前より仲の良い姉弟になっていました。

姉と比べると十人並みだった私は弟に尊敬されたことはなく「お姉ちゃん」と呼ばれたことがありませんでした。その弟は、結婚が決まった私のために色々となってくれました。婚礼家具の買い付けや結婚式の準備。「お母ちゃんに頼まれていたから。」とは言ってましたが、25歳の男子がよくやってくれたと思います。

今はそれぞれが家庭を持ち、別々の生活を送っていますが、嫁に出た私と姉は、盆と正月に弟の家に遊びに行くのを心から楽しみにしています。両親はすでになく、新しく建て替えられた弟の家ですが、義妹がまたいいお嫁さんでありがたくお邪魔しているわけです。

私の子どもも三人姉弟です。ケンカもするし、べったり一緒にいることが楽しいようです。三人にどんな将来が待っているか分かりませんが、姉弟で会うのが楽しいと思えるような関係でいて欲しいと願っています。そのために私たちが夫婦が三人のふるさとをしっかり築くことが大切だと感じているのです。

—— わいらいネット 織田 裕子 ——

天国の両親も泣いてるぞ



「ねえ、ママ空見て!今日のおつきさままんまるだね。」「今日はとても細い三日月だよ。」夜になると窓の外空を見上げて娘が教えてくれます。

娘が生まれて初めて出会った絵本がこの「おつきさまこんばんは」です。生後2ヶ月の時でした。当時まだ絵を見てもぼんやりとしか見えていなかったかもしれませんが、毎日のように読み聞かせていました。登場するのはおつきさまと猫と雲。文章も少なくともシンプルな絵本ですが、まだ小さかった娘にはそれで十分だったようです。

夜になるとおつきさまが出てきて屋根の上を明るく照らしてくれます。そこに猫たちが現れて「こんばんは」とご挨拶します。しかし雲さんが出てきておつきさまを隠してしまい「雲さんどいて。おつきさまが見えないよ」と猫たちが追い払うと、またおつきさまの笑顔が戻ります。

娘も3ヶ月、4ヶ月と成長するにつれておつきさまの絵を見るとにっこり笑うようになり私もとても嬉しかったのを覚えています。娘が寝る前には2～3冊の絵本を読み聞かせていましたが、一歳ぐらいになると自分の好きな絵本を本棚から枕元まで「よいしょ、よいしょ」と運んできて、その中には必ずこの絵本が入っていました。

娘にとっておつきさまが大切に気になる存在になったのは、この絵本に出会ったからかもしれません。今では、十五夜や十三夜などの行事をとおして一緒におつきさまを眺めながら、娘のすこやかな成長をお願いしています。

(次回は 上河合町 稲川 幸子さん)



市内で買えるいちご屋さん特集

クリスマスといえばプレゼントにツリー…。そして忘れてはいけないのがクリスマスケーキ!今回はそのケーキには欠かせないいちごが買えるいちご屋さんの特集です。今年のクリスマスケーキはご自宅で手作りしてみたいかがでしょうか?お電話にて確認の上、お出かけください。



- ①品種名
- ②販売期間
- ③メッセージ
- ④問合せ先

岩間 智恵子



①ひたちひめ②12月中旬～4月中旬③甘くて大きいいちごです。(要電話確認)④箕町551-2 ☎76-2366

岩間 秀子



①とちおとめ②12月中旬～4月下旬③農薬をひかえた安心ないちごです。(要電話確認)④箕町629 ☎76-3261

木村 農園



①とちおとめ②12月中旬～3月下旬、4月中はいちご狩り(要予約)③甘くておいしいのでぜひお越しください。④箕町286 ☎76-2527

椎名 重雄



①とちおとめ②12月中旬～5月下旬③畑で完熟させた甘いいちごです。(要電話確認)④瑞龍町1056 ☎72-6734

セツコの苺園



①章姫、紅ほっぺ②12月中旬～6月中旬③30分間の食べ放題(有料)。車イスの方でも可能です。④松平町1047 ☎85-1160

石井いちご園



①バインベリー②12月下旬～5月中旬③完熟させたいちごをその場で収穫しています。(要電話確認)④松平町363-1 ☎090-3699-4651

岩間 貞夫



①とちおとめ、ひたちひめ②12月中旬～5月中旬③甘さに自信あります!④国安町830 ☎85-1254

萩谷いちご園



①とちおとめ②12月中旬～5月下旬③おいしいと言ってもらえるいちごを作ります。④藤田町928 ☎72-1636